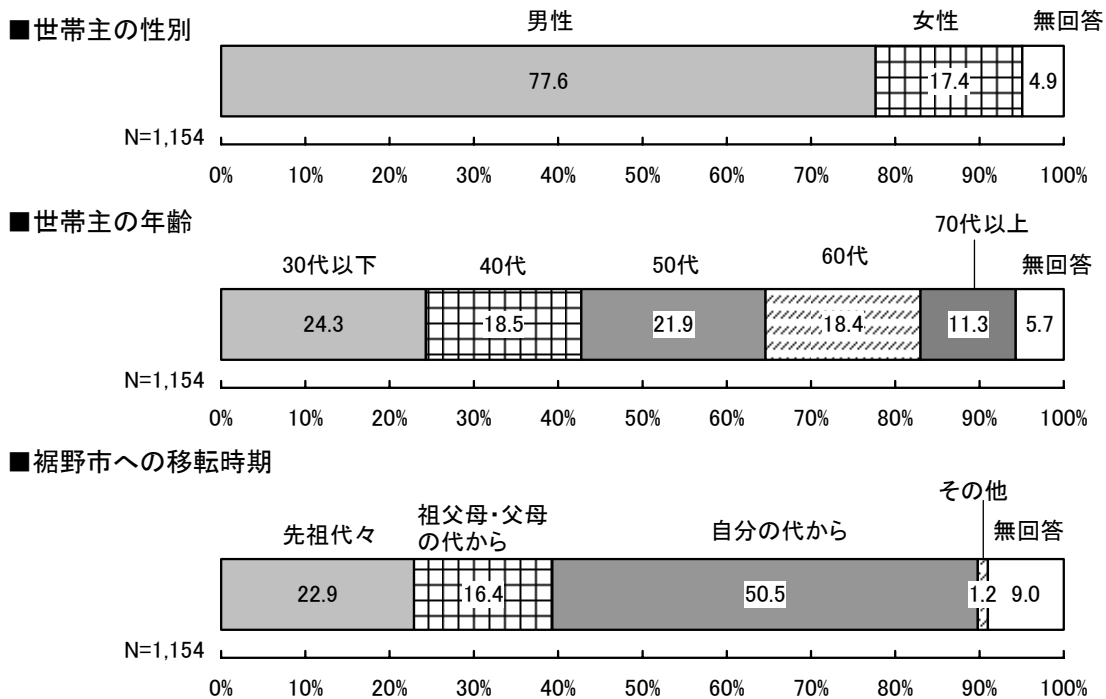


◆墓地について【問 27～問 36 は、世帯主の回答】

問 27 世帯主の方の性別と年齢、及びいつから裾野市にお住まいかをお教えてください。

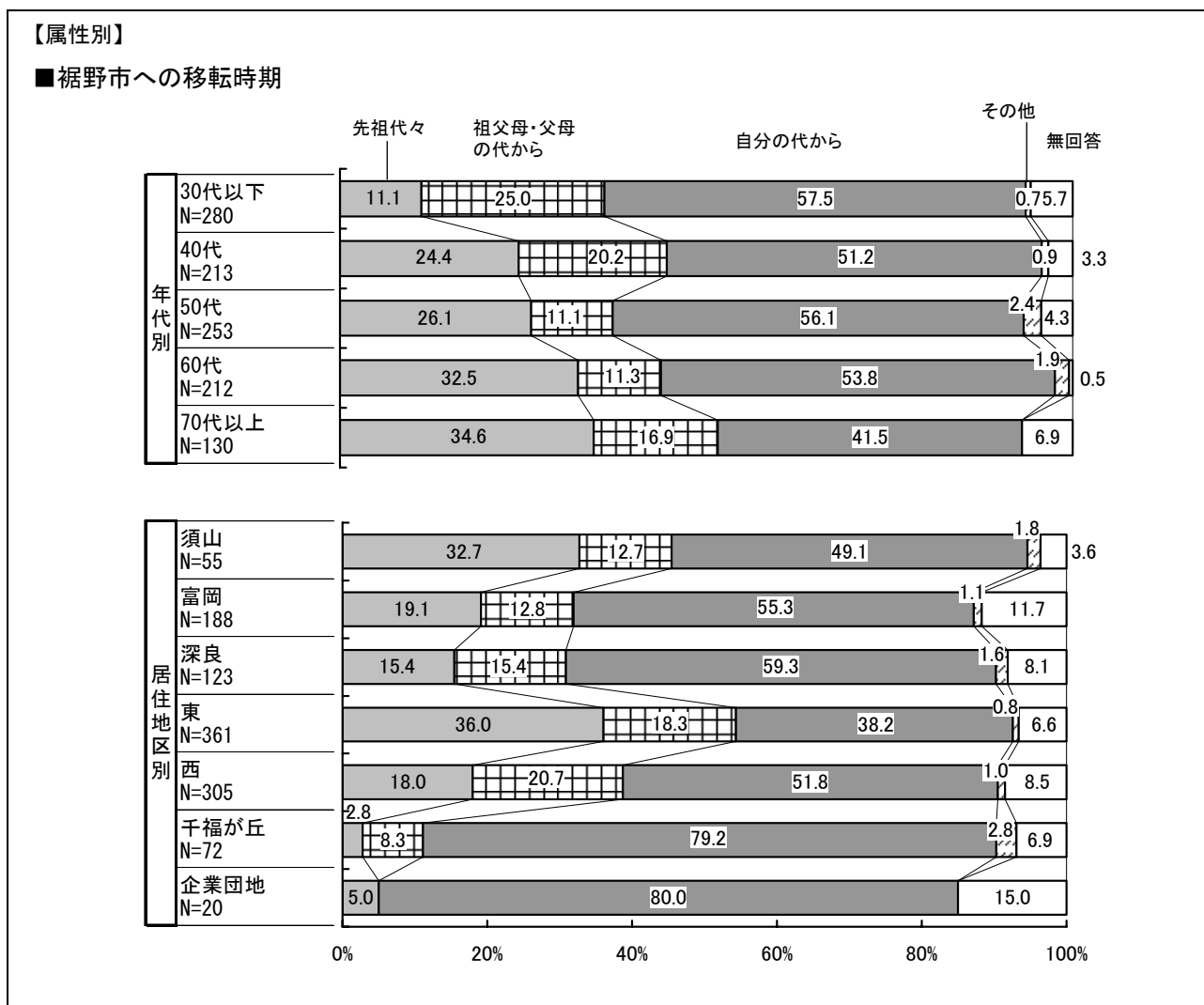


世帯主の8割近くが「男性」。裾野市には「自分の代から」住んでいる人が半数。「先祖代々」裾野市に住んでいる割合は、年代が高いほど多い。

世帯主の性別は、「男性」が 77.6%と大半である。

年代は、「30代以下」が 24.3%で最も高い割合を占めている。以下、「50代」が 21.9%、「40代」が 18.5%、「60代」が 18.4%となっており、40～60代まではほぼ均等にわかれている。

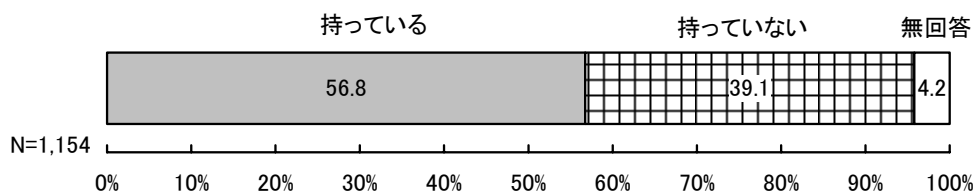
裾野市移転時期は、「自分の代から」が 50.5%で半数を占め、「先祖代々」が 22.9%で続いている。



裾野市への移転時期について、世帯主の年代別にみると、「先祖代々」との回答は、年代が高いほど割合が高くなっており、30代以下は1割であるのに対し、60代以上はいずれも3割台になっている。

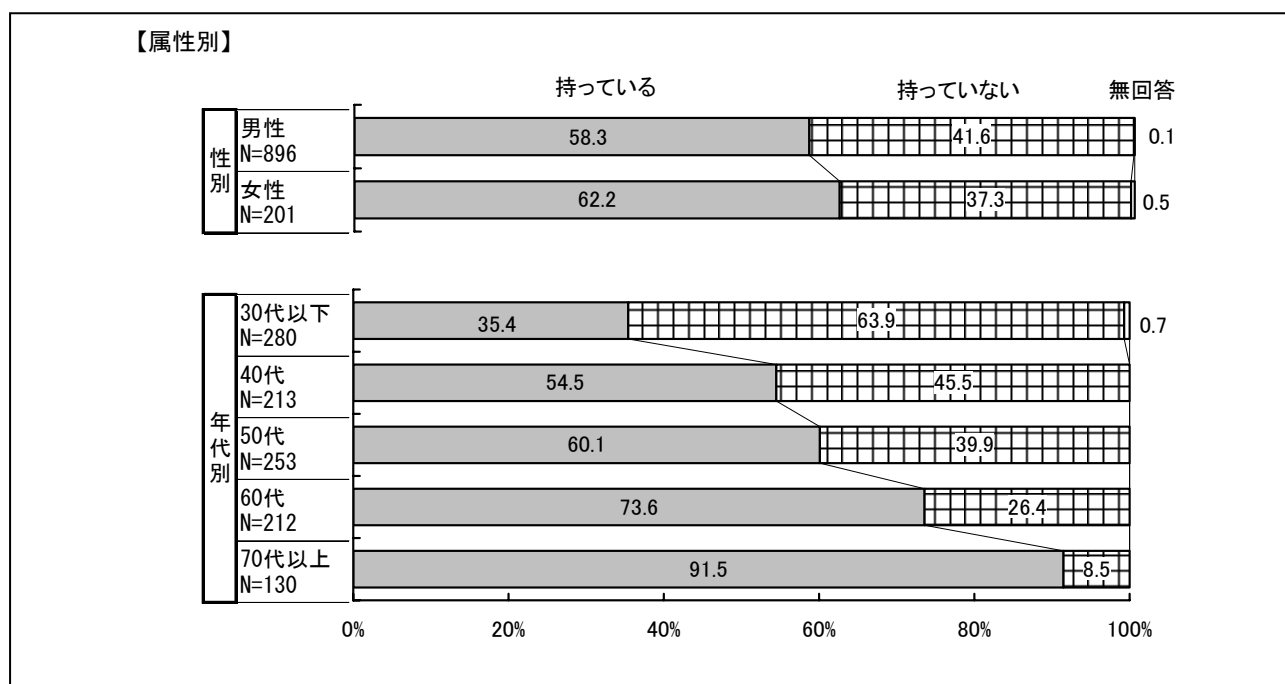
居住地区別にみると、「先祖代々」は東で最も高く、36.0%となっている。次いで須山が32.7%である。千福が丘や企業団地は「自分の代から」が8割前後を占めている。

問 28 あなたは将来ご自身が利用できるお墓（墓地、納骨堂）を、すでにお持ちですか。（1つに○）



将来自分が利用できるお墓は「持っている」が過半数。
 「持っている」割合は女性の方が高い。世帯主の年代が高いほど「持っている」率も高い。

将来、自分が利用できるお墓の有無は、「持っている」が 56.8% で過半数を占めている。



世帯主の性別にみると、「持っている」は女性の方で割合が高く、男性を 3.9 ポイント上回る 62.2% である。

世帯主の年代別にみると、年代が高いほど「持っている」割合が高くなる傾向が顕著である。70 代以上は 9 割を超えている。

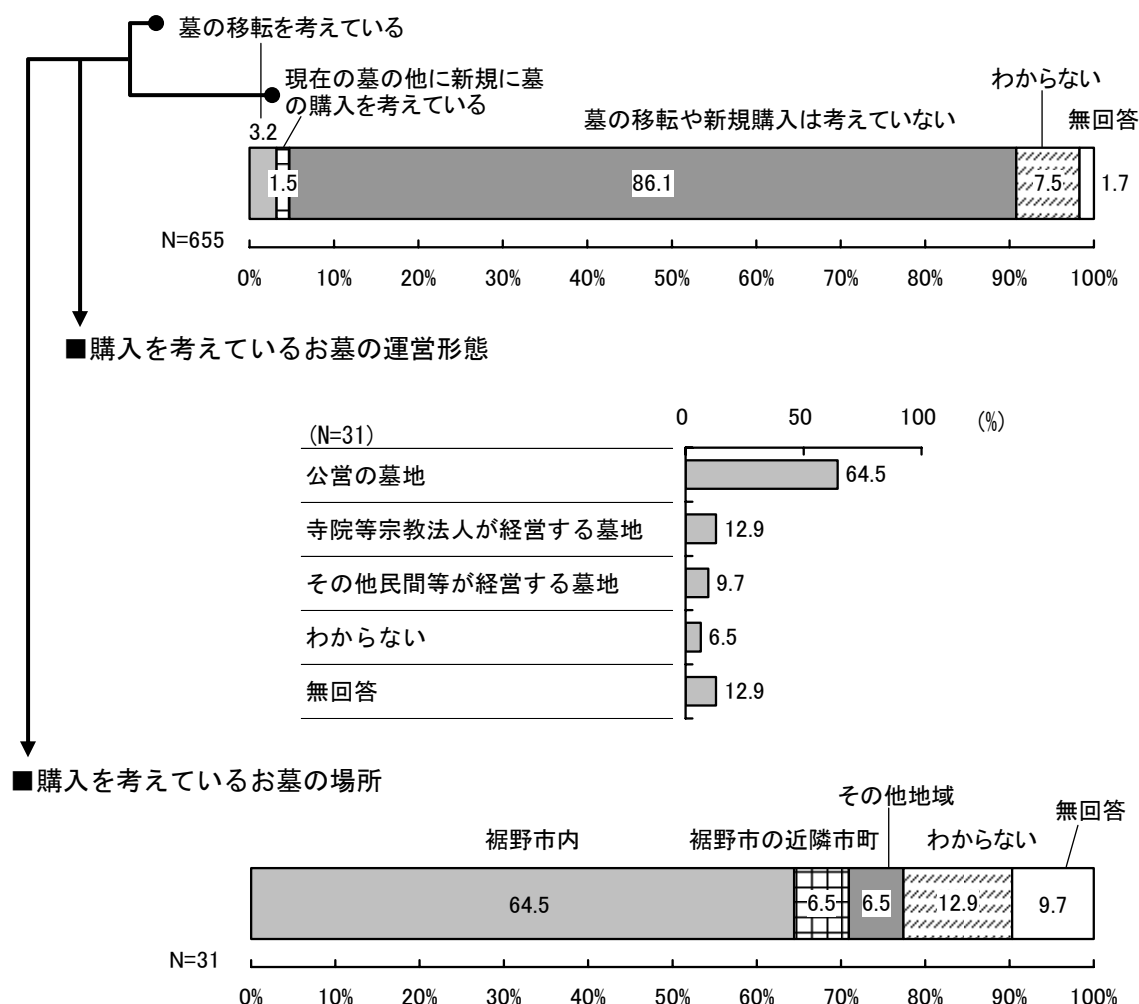
問29 問28で「1 持っている」と答えられた方にお聞きします。

お墓の移転や新規購入をお考えですか。(1つに○)

問30-1 今後購入をお考えのお墓は以下のような運営形態が望ましいとお考えですか。

(いくつでも○)

問30-2 今後購入をお考えのお墓の場所はどこが最も望ましいとお考えですか。(1つに○)



墓を持っている人の移転や新規購入意向は1割に満たない。先祖代々裾野市在住の場合は特に少ない。購入希望者の望ましい運営形態は「公営の墓地」で6割強の回答。

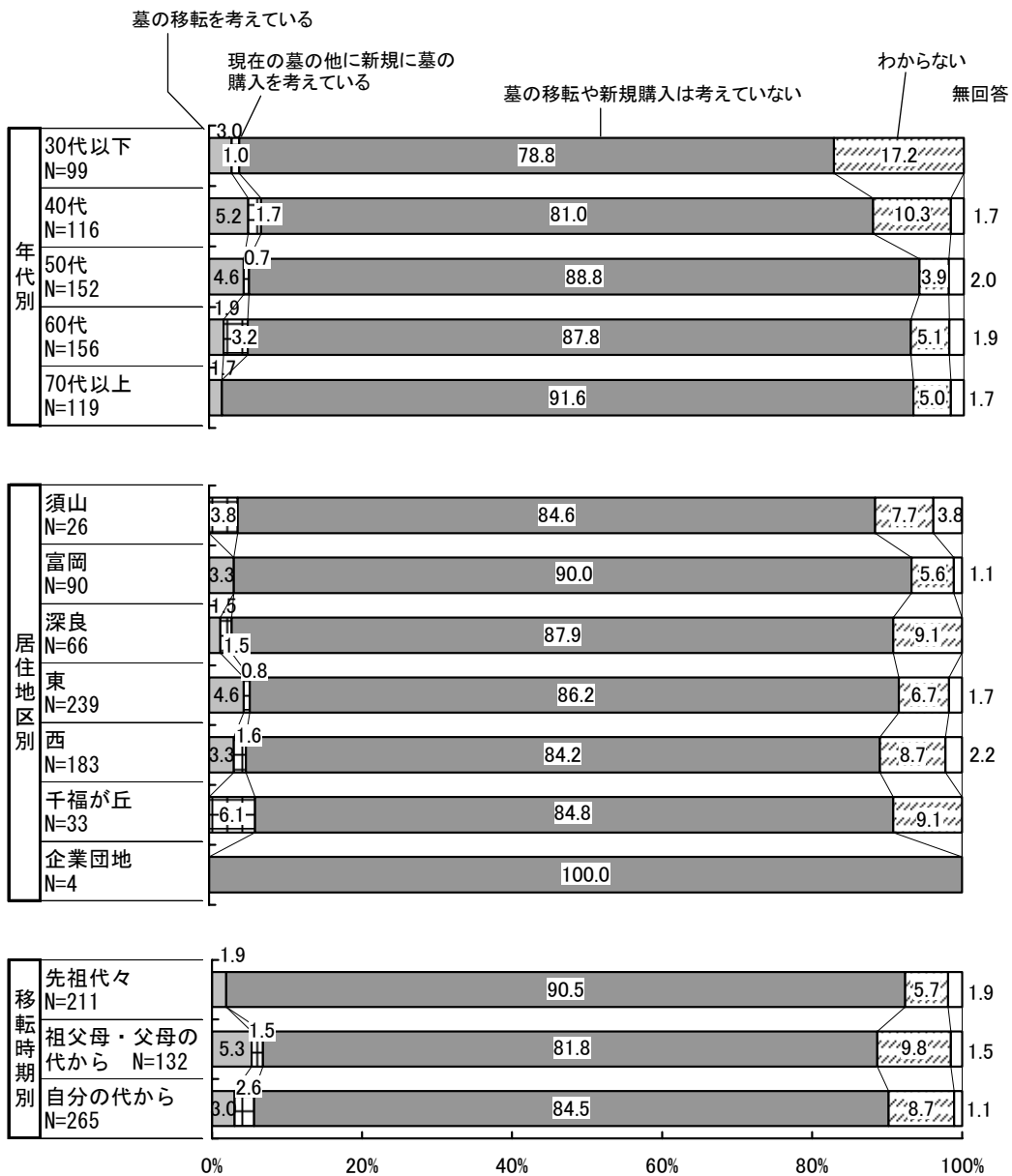
墓を持っている人の移転や新規購入意向は、「墓の移転や新規購入は考えていない」が86.1%とほとんどを占めている。「墓の移転を考えている」は3.2%で、「現在の墓の他に新規に墓の購入を考えている」は1.5%である。

移転、及び購入を考えている人の、望ましい墓の運営形態は、「公営の墓地」が64.5%で圧倒的に多い。

また、望ましい墓の場所は、「裾野市内」が64.5%と過半数を占めている。「裾野市の近隣市町」「その他地域」がいずれも6.5%ずつとなっている。

【属性別】

■お墓の移転や新規購入意向



墓の移転や購入意向について、世帯主の年代別にみると、若年代層でも「墓の移転を考えている」が他年代と同様にある程度みられるが、「わからない」ケースが目立つ。

居住地区別では、富岡、深良、東、西で「墓の移転を考えている」への回答がみられる。

裾野市への移転時期別にみると、「墓の移転を考えている」は先祖代々からの場合で最も割合が低くなっている。また、「現在の墓の他に新規に墓の購入を考えている」は皆無である。

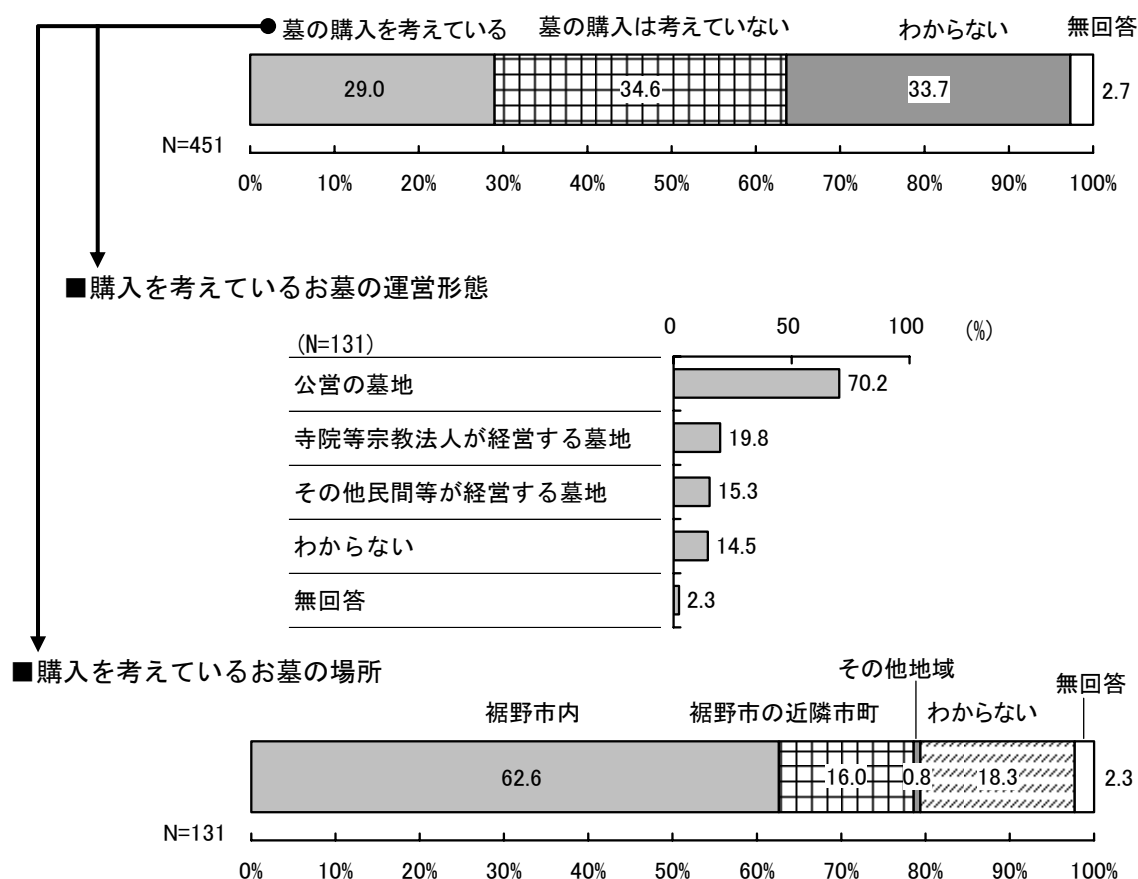
問31 問28で「2 持っていない」と答えられた方にお聞きします。

お墓の新規購入をお考えですか。(1つに○)

問32-1 今後購入をお考えのお墓は以下のような運営形態が望ましいとお考えですか。

(いくつでも○)

問32-2 今後購入をお考えのお墓の場所はどこが最も望ましいとお考えですか。(1つに○)



墓を持っていない人の購入意向は約3割。年代が高いほど意向が高い。
年代が高いほど「公営の墓地」を希望する割合が高くなり、
年代が低いほど「寺院等宗教法人が経営する墓地」を希望する割合が高い。

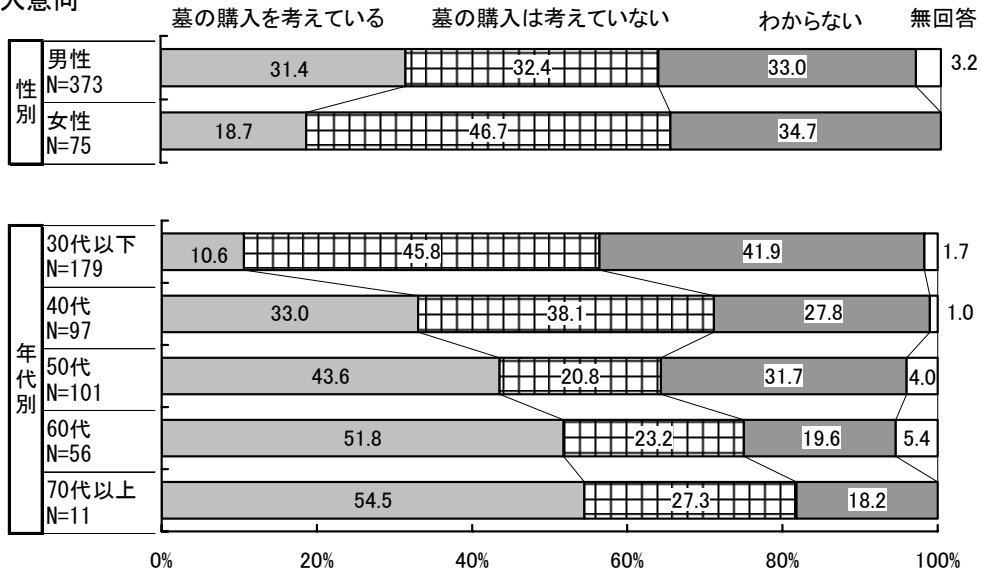
将来自分の利用する墓を持っていない人の購入意向は、「墓の購入は考えていない」が34.6%で最も高い割合を占めているが、次に「わからない」が33.7%、「墓の購入を考えている」が29.0%で、ほぼ等分にわかれている。

購入を考えている人の望ましい墓の運営形態は、「公営の墓地」が70.2%で圧倒的に多い。

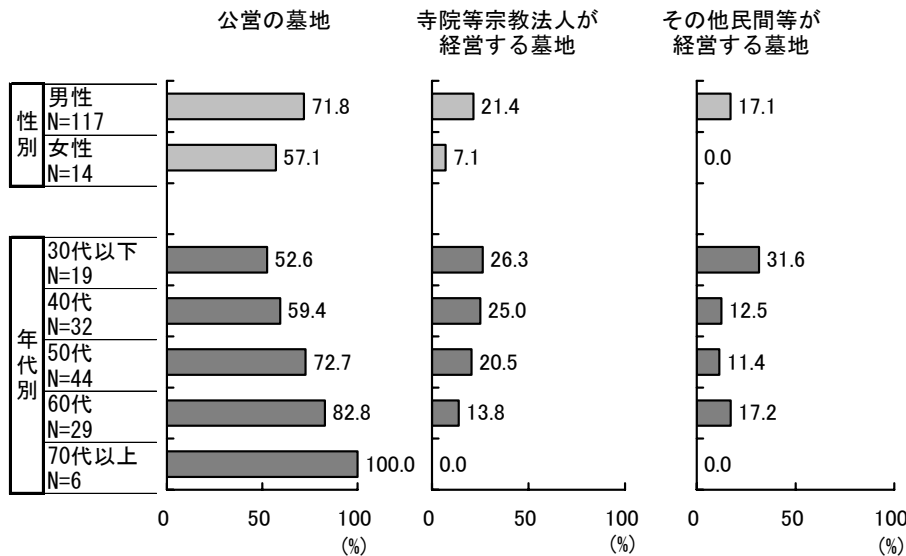
また、望ましい墓の場所は、「裾野市内」が6割と過半数を占めている。

【属性別】

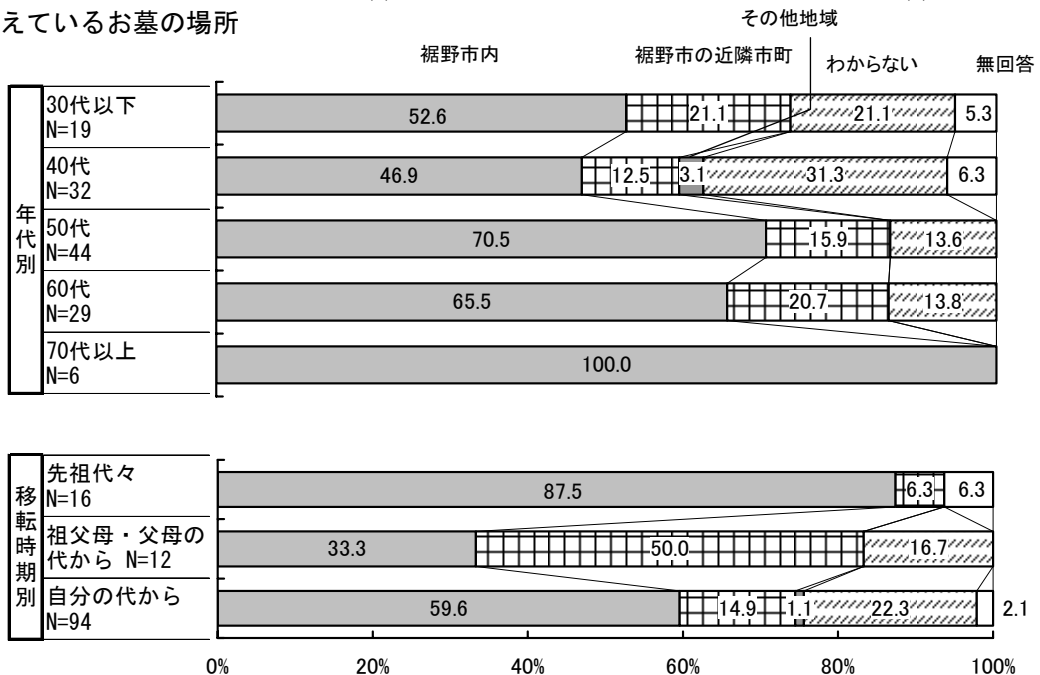
■お墓の購入意向



■購入を考えているお墓の運営形態



■購入を考えているお墓の場所



墓の購入意向について世帯主の性別にみると、「墓の購入を考えている」は男性が女性を12.7ポイント上回り、3割を占めている。

年代別にみると、年代が高いほど「墓の購入を考えている」が高い割合となっている。

購入を考えている墓の望ましい運営形態を性別にみると、いずれの回答も男性が女性を上回っており、男性の方が、意向が明確であるといえる。

同様に世帯主の年代別では「公営の墓地」は年代が高いほど割合が高く、「寺院等宗教法人が経営する墓地」へ、全体的に回答は少ないが、傾向としては年代が低いほど高い割合である。

望ましい墓の場所を世帯主の年代別にみると、裾野市外の意向で、「裾野市の近隣市町」は30代以下と60代で2割と高い。「その他の地域」は40代にのみ回答がみられる。

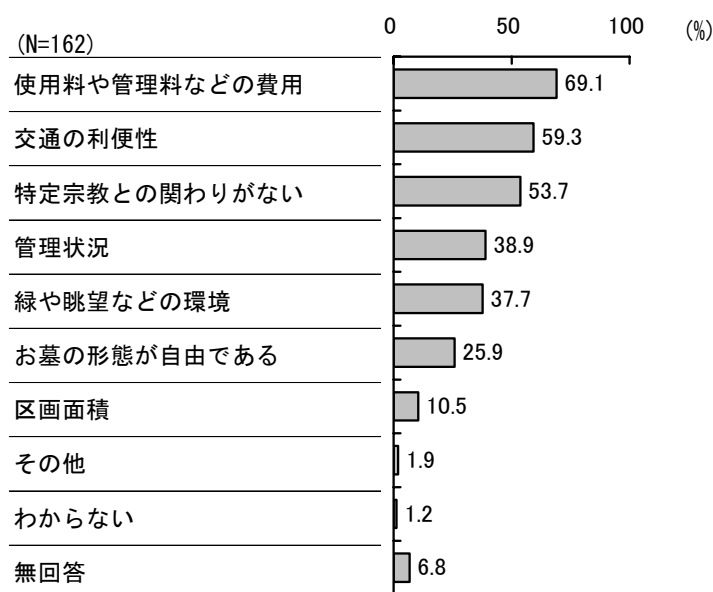
同様に裾野市への移転時期別にみると、先祖代々の場合は「裾野市内」が87.5%と大半である。

問 33 今後お墓の購入希望のある方（問 29 で「1 墓の移転を考えている」「2 現在の墓の他に新規に墓の購入を考えている」、または問 31 で「1 墓の購入を考えている」と回答）にお聞きします。

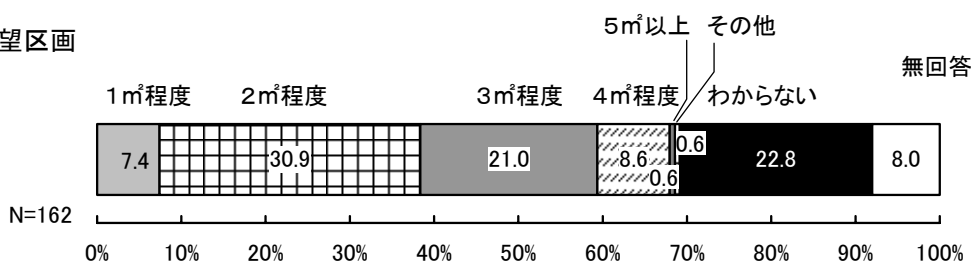
問 33-1 お墓を購入する際に重視される条件は何ですか。（いくつでも○）

問 33-2 お墓の土地（区画）の広さはどれくらいを希望しますか。（1つに○）

■購入の際に重視する点



■購入希望区画



購入条件は上位3項目で過半数の回答と、条件を複数持つ人が多い。
女性は維持管理、環境を重視する点で、男性を上回る。

墓の購入を考えている人の購入条件は、「使用料や管理料などの費用」が 69.1%で最も多く、次いで「交通の利便性」が 59.3%、「特定宗教との関わりがない」が 53.7%の順となっており、以上は過半数の回答となっている。

購入希望区画は、「2㎡程度」が 30.9%で最も高い割合を占めている。次に「わからない」が高く、22.8%となっている。

次頁のグラフのように購入条件を性別にみると、管理、環境など、墓購入後の維持について条件とする割合は、いずれも女性が男性より高くなっている。特に「管理状況」は 12.6ポイント高い。

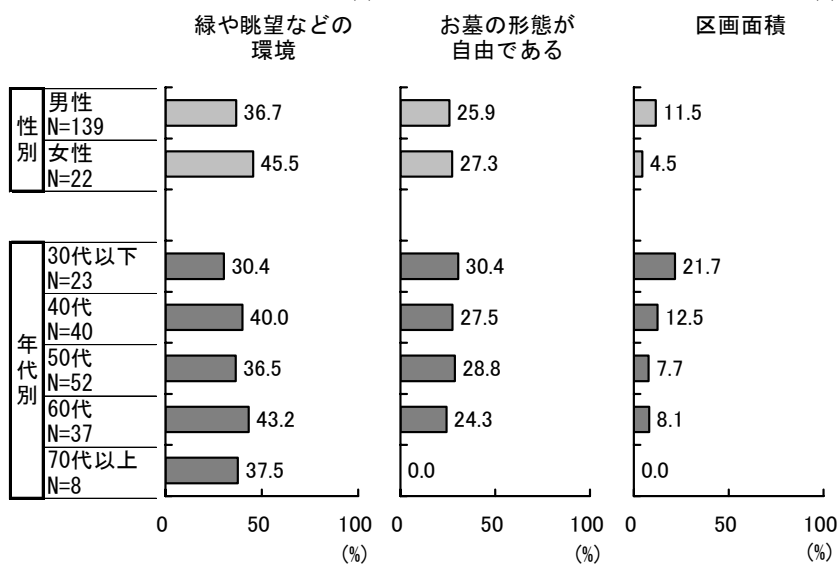
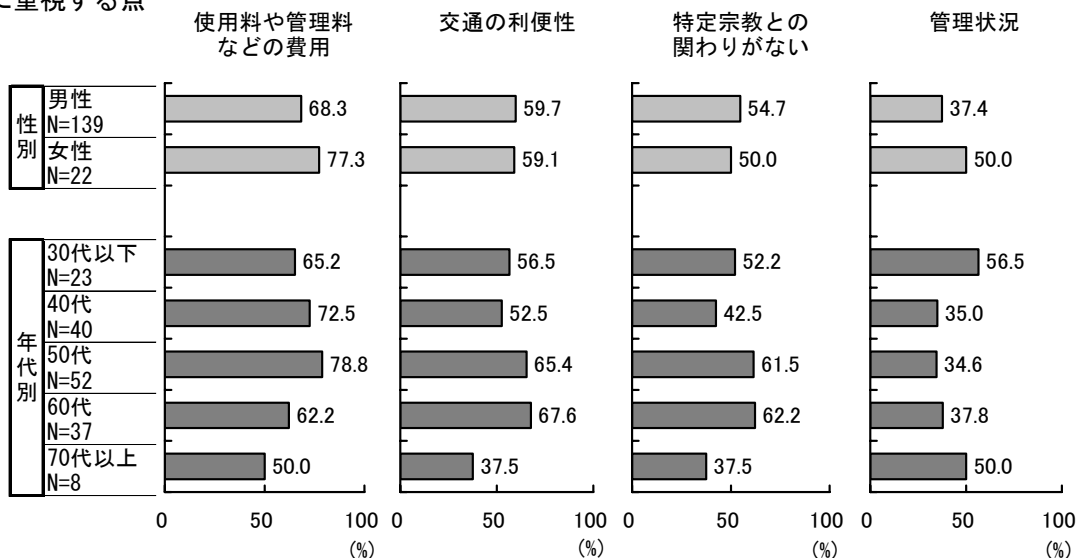
年代別では、50代、60代が、上位3項目において6割以上の回答と、こだわりを複数持つ人が多くなっており、購入意識が高いことが考えられる。

購入希望区画を性別にみると、区画が大きい方で、男性が女性を上回る傾向である。女性は「わからない」が4割を占めている。

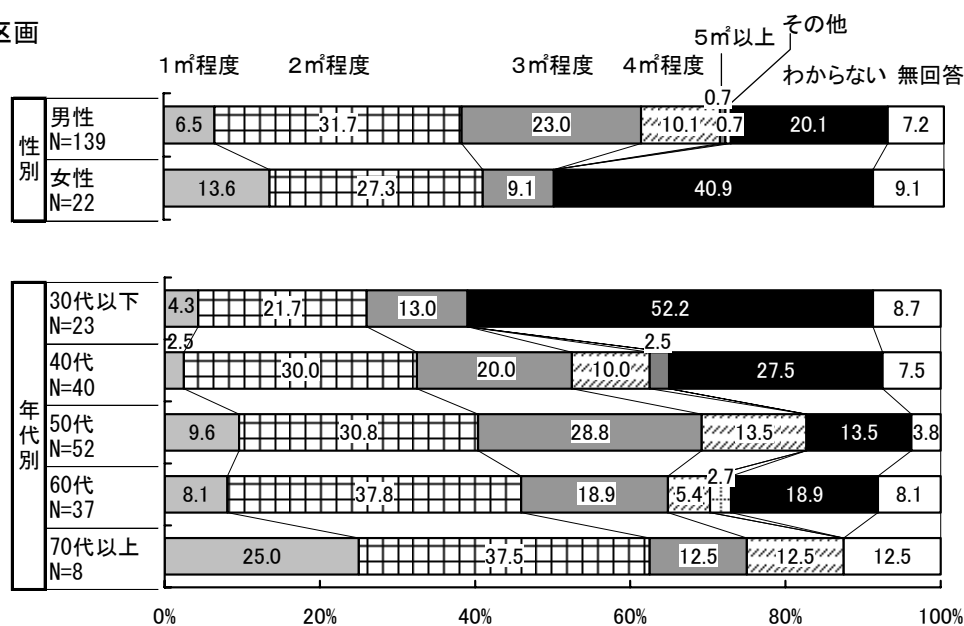
年代別では、年代が低いほど「わからない」の占める割合が高い傾向になっており、30代以下では過半数になっている。

【属性別】

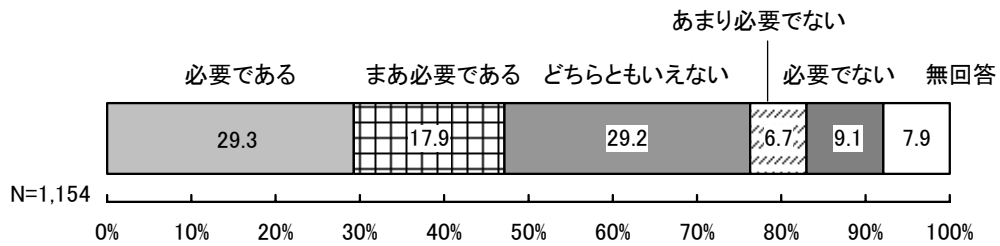
■購入の際に重視する点



■購入希望区画

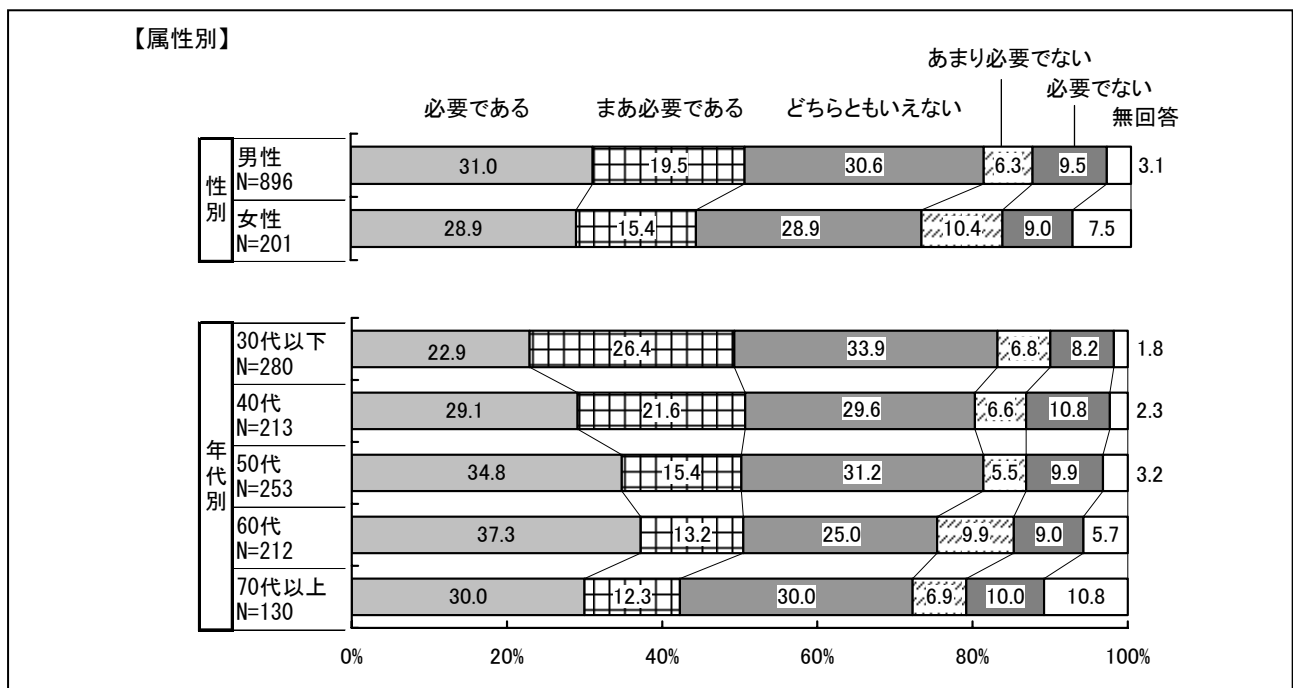


問 34 あなたは裾野市内に公営の墓地を設置する必要があるとお考えですか。(1つに○)



裾野市内の公営墓地設置は「必要である」と「どちらともいえない」がほぼ同率。女性の方が“必要でない”と考える割合が高い。60代までは約半数が“必要”と回答。

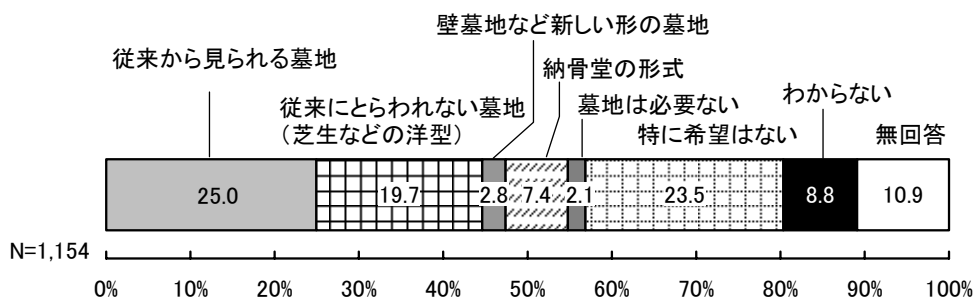
裾野市内における公営墓地設置の必要性は、「必要である」が29.3%で最も高い割合を占めているが、「どちらともいえない」とはわずかに0.1ポイントの差である。しかし、「あまり必要でない」「必要でない」を合わせて比べると、「必要である」が圧倒的に高くなっている。



性別にみると、「必要」は男性が女性より高く、「必要である」で2.1ポイント、「まあ必要である」で4.1ポイント上回っている。男性は「どちらともいえない」も高い。一方、女性は「あまり必要でない」が男性より4.1ポイント高く、1割になっている。

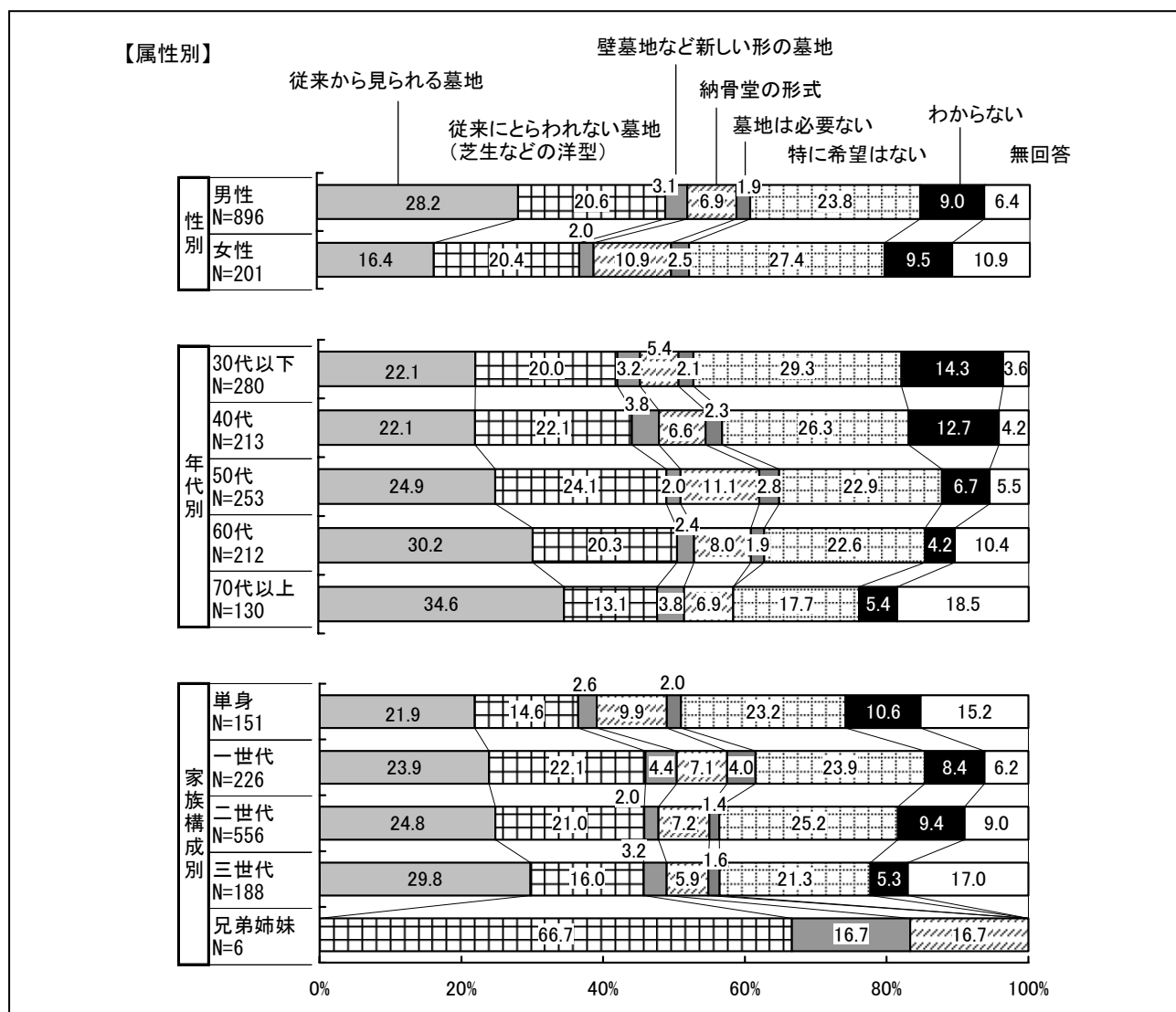
年代別では、「必要である」が、60代まで年代が高いほど割合が高くなっている。また、60代までは「まあ必要である」を合わせて“必要”がほぼ半数になっている。

問 35 最近、多様な墓地の形態（かたちやスタイル）が現れる等、墓地に対する考え方も様々ですが、あなたはどの形態の墓地が良いですか。（1つに○）



「従来から見られる墓地」の形式を良いと考える人が4人に1人。
女性より男性の方が、また年代が高い方が、さらに大家族の方が従来型を好む。

良いと考えられる墓地のスタイルは、「従来から見られる墓地」が25.0%で最も高く、4人に1人の回答になっている。次に「特に希望はない」が高い。希望がある中で従来型に続くのは「従来にとられない墓地（芝生などの洋型）」で、19.7%である。



性別にみると、「従来から見られる墓地」で大きな差がみられ、男性が28.2%に対し、女性は16.4%となっている。一方女性は、「納骨堂の形式」が1割に達しており、男性をやや上回る結果になっている。

年代別にみると、「従来から見られる墓地」は年代が高くなるほど割合が高い傾向にあり、60代以上は3割台の回答になっている。

家族構成別にみると、「従来から見られる墓地」は、同居家族数や世代数が多いほど高い割合になっている。